

おもな内容

- 町防災無線システム ②③
- クリーン作戦・青少年主張大会 ④⑤
- 台風情報の見方・聞き方 ⑥⑦
- はなしのひろば ⑩⑪
- まちかど ⑫⑬
- お知らせ ⑭⑮

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷KK



▲ 石神地内で

雨のなか クリーン作戦 実施

7月16日(日)早朝から町内一斉にクリーン作戦が展開されました。「なぜこんなところにゴミが捨ててあるのかな」「1人ひとりがもつと気をつければいいのにな」、雨のなかで取り組んだクリーン作戦での子どもたちの声です。子どもたちから見ればところ構わずゴミを捨てるとは当然いけないことです。この大人たちの姿は、子どもたちの目にどう映るのでしょうか。

子どもたちは、美しいまちゴミを捨てないまちを望んでいるのです。

■ 人口の動き=6月末(カッコ内は前年同月比) 総人口10,779(+175) 男5,296人(+89) 女5,483人(+86) 世帯数2,874戸(+61)

(写真は既設町村のものです)



▲戸別受信機

全世帯に配られるラジオ型受信機で各種情報を受信します。区単位などに区切っても放送できます。

川辺町では、平常時には町行事等を定時放送し、災害時には正しい情報をいち早く、しかも確実に住民の皆さんに伝える方法として、防災行政無線の整備を進めています。開局は平成二年四月の予定です。

いち早く、正確に

災害時に停電や断線による不通の心配がなく、正しい情報をいち早く、しかも正確に伝える防災行政無線を、川辺町では、デジタルレコード方式で整備する方向です。これは従来のアナログセレコール方式で問題のあった、他の市町村無線との混信や、妨害波の影響をうけず、また、選択呼出装置により「区」単位や「校下」毎にも、一括分割して一括、また個別の放送ができます。

設備はこうなる

設備としては、通常時は本部を役場に置き、町内二十二か所に設置される、地域広報用スピーカー「屋外拡声子局」によって情報が流れます。これを通称「マスト」といいます。そして、各世帯に一台づつ貸与され

る受信機「戸別受信機」にも情報が流れます。この二つの情報手段は、その情報の内容などにより、戸別受信機のみの情報や、マストとの組み合わせなど必要に応じて組み合わせられます。

しかし、設置後の維持管理に必要な経費、つまり電気代は利用者に負担していただくことになります。その額はだいたい月に百円程度と考えられます。

緊急時には、屋外拡声子局と戸別受信機、そして応用車、消防車に設置された移動系無線や持ち運びができる可搬型無線を利用し、情報が流れます。これによつて本部も災害現場などを近くに設置することが可能で、迅速に対応することができます。

現在の予定では、車載型二十五台、可搬型十二台を整備し、緊急時の対応に備える計画です。

放送の内容は――

防災行政無線の放送は、原則として緊急放送と普通放送の二種類があります。

緊急放送は、火災発生、台風、水害、地震、気象通報などや、それにともなう緊急連絡事項などです。

普通放送は、時報および広報で、特に広報は、行政上の様々な情報を住民の皆さんに提供できます。行政と住民の皆さんとの新たな情報媒体として活用されます。

安心とふれあいの川辺町シヨン

町防災行政無線システム

住民負担はどうなる

ある町が、無償貸与することにしていますので、設置時に住民の皆さんの直接の負担はありません。

しかし、設置後の維持管理に必要な経費、つまり電気代は利用者に負担していただくことになります。その額はだいたい月に百円程度と考えられます。

ある町が、無償貸与することにしていますので、設置時に住民の皆さんの直接の負担はありません。

しかし、設置後の維持管理に必要な経費、つまり電気代は利用者に負担していただくことになります。その額はだいたい月に百円程度と考えられます。

第3回防災訓練

9月3日(日)
実施予定!

想定は

大規模地震!

九月三日(日)に、第三回町防災訓練を町内各地で実施する予定です。

この訓練の想定は「駿河湾を震源とする大規模地震」です。

町では午前七時から災害対策本部を設置し、住民の皆さんによる初期消火作業訓練から、消防団による消火訓練、そして場所を川辺中グラウンドに移し、総合訓練を実施します。

住民参加の災害訓練と考えて

総合訓練は 川辺中グラウンド

〔主な訓練内容（案）〕

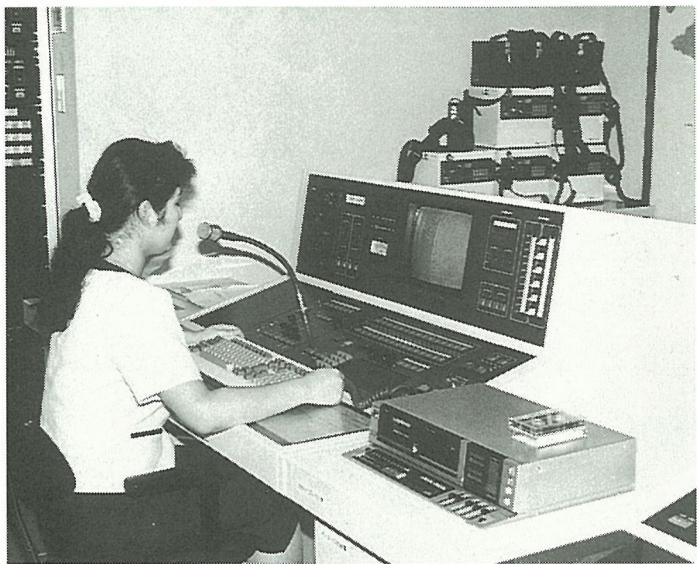
- ①災害対策本部設置（七時）
- ②災害広報活動（七時～）
- ③各地区での初期消火訓練
- ④避難訓練〔川辺中～移動〕
(七時半～九時)
- ⑤火災発生による消火訓練
- 〔二地区を想定〕
- ⑥川辺中グラウンドでの総合訓練（十時～十一時半）



- ▽自動車火災▽テンプラ火災
- ▽浄水給水訓練▽炊きだし訓練
- ▽電力復旧訓練▽緊急通信開設

訓練▽高所救助訓練▽防火鼓笛隊演奏など

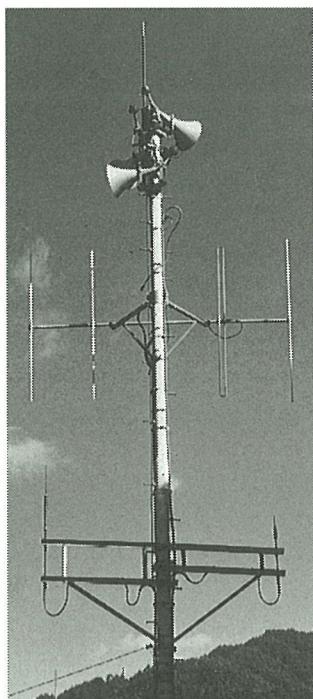
＜無線システムのあらまし＞



▲本部 本部は役場に置き、各種の情報を各地区に放送します。

▼屋外拡声子局（マスト）

放送は屋外でも聞くことができます。また、それぞれのマストごとに放送することもできます。



▼移動系無線

応用車や消防自動車などに設置され、機動性のある情報連絡をおこなうことができます。



小雨のなか町内一斉に クリーン作戦



七月十六日の日曜日、家族そろってのクリーン作戦清掃活動が、町内各地で展開されました。この日、朝から雨が降り、時おり小雨の悪天候でした。各地区では、この雨のあい間をぬつて作業を展開しました。参加総数は約四千六百人、集まったゴミの量は約四・七トン。

市民の皆さんに定着したこの作戦には、子どもからお年寄りまでが参加し、各自治会ごとの作業内容にしたがい、公民館や公園、花壇、道路の清掃や草刈りなどを行いました。



青少年主張大会開かれる

25人が発表

ミニニュース

車いすを贈

贈

六月二十五日、第八回青少年主張大会が中央公民館で開催されました。

この主張大会は、町民会議の事業として行われており、各子ども会単位で出場者を選抜、小学生の部に十八人、中学生の部に七人の計二十五人が、それぞれ、ぼくの主張、私の主張を発表しました。

今年の主張大会は、二十五人という多くの発表者と、多くの聴衆、そして自分の身近な体験から考えた主張が多くつたことに特徴がありました。指導、講評では審査員を代表して、川辺中学校長吉田哲彦先生から「すべての発表者に共通することは、とてもいい体験をされていてこと、思わず引き込まれてしまうような話しぶりだつた」と評価、「主張大会といふ多くの人の前で自分の意見を述べるという体験は、なかなかできるものではありません。人生においてすばらしい経験をした」と、これから成長が楽しみであると話されました。結果は次のとおりです。

【小学生の部】

▽最優秀賞 小山弘行（鹿塩六

年）

井二年）「クリーン作戦がなくなる

年）

【中学生の部】

▽最優秀賞 田原雅美子（西柄

年）

井二年）「家庭」

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 入合真弓（比久見二

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 上野美香（中川辺六

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 田原美香（西柄井四年）

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 岩田久範（下石神六年）

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 村山道子（下石神六年）

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 多田容子（西柄井五年）

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 遠藤奈帆子（中川辺六年）

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 河合陽子（福島六年）

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 小山弘行（鹿塩六年）

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 田原雅美子（西柄井五年）

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 井明子（中川辺六年）

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 村上勝秀（西柄井五年）

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 上野美香（中川辺六年）

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 田原美香（西柄井四年）

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 入合真弓（比久見五年）

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 井明子（中川辺六年）

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 田原雅美子（西柄井五年）

年）

【中学生の部】

▽優秀賞 入合真弓（比久見五年）

年）

【小学生の部】

▽優秀賞 田原雅美子（西柄井五年）

年）

【中学生の部】

エッセイと台風情報の見方・聞き方(6)



岐阜地方気象台にインタビュー

八月と九月は、台風が日本に上陸することが多くなります。広報かわべでは、岐阜地方気象台へ直接出向き、インタビューによる台風情報についてお聞きしました。インタビュアーは、広報モニターの長尾フサエさんです。



岐阜地方気象台
鈴木 東さん

大きさ・強さは――
――それでは、台風の大きさ、

台風の正体は――
――最初に、台風とはどういうものをいうのですか。

鈴木 赤道近くの熱帯地方で発生した熱帯性低気圧のうち風速毎秒十七・二メートル以上のものを台風といっています。ですから車の速さでみると時速約六十二キロメートルで走っている車の移動と同じ速度で風が流れていることになります。

●台風の大きさと強さの分類●

大きさの分類		強さの分類		
程 度	1000ミリバールの等圧線の半径	階 級	中 心 気 圧	最 大 風 速(参考)
ごく 小 さ い	100km未満	弱 い	990ミリバール以上	毎秒25m未満
小 型(小さい)	100～200未満	なみの強さ	960～989	25～34
中 型(なみの大きさ)	200～300未満	強 い	930～959	35～44
大 型(大きい)	300～600未満	非常に強い	900～929	45～54
超大型(非常に大きい)	600以上	猛烈な	900未満	50以上

(資料) 気象庁

しかし、この分類は便宜的な目安ですから「小型」「弱い」と

強さはどういう基準になつていますか。
鈴木 そうですね、台風情報では、「小型でなみの強さ」とか「中型で強い」といった表現をしています。これは小型、中型と表現しているのが、台風の大さき。強い、弱いと表現しているのが台風の強さを示しています。基準は別表のとおりです。

いつて安心は禁物です。小型で弱い台風でも、強い風と雨を伴うことが十分に考えられます。また、台風の強さは中心気圧により決定しますが、最大風速を参考にして決定する場合もあります。

暴風警戒域とは――

――台風の進路予報で、暴風警戒域とか聞きますがどのようなものですか。また予報図で注意することなど教えてください。

鈴木 暴風域に入る可能性のある範囲を暴風警戒域によって表します。暴風域というのは、平均風速でおおむね毎秒二十五メートル以上の風が吹いていると考えられる範囲です。なおこの外側には強風域があります。また予報円という表し方があります。これは台風の中心が到達すると予想される範囲を示します。予報円内に台風の中心が入る確率は約六〇%です。

台風豆知識

――台風について、こんなことを知っているといふということを教えてください。

鈴木 そうですね、台風の名づけ方は、発生順に番号を付けま



「銀行の利息よりももうかります」
「有利です」
「ひとつもうけてみませんか」
「絶対安全です」
老後の生活資金を
うばいとる甘いわな
— 海外商品先物取引 —

安く、いいものを買いたいと
いうことは消費者の皆さんのが
れもが考えることです。しかし
穴のあるものです。
ここでは、そうしたことがあります。
例として二つほど紹介します。

「催眠状態にして貰わせる
催眠商法」
「日用雑貨品や食料品の安売り
をします」
「無料でさしあげます」と言つて会場に人を集め、
最後に高額な健康食品や羽毛布
団などを買わせるものです。



「絶対もうかる」……なんて話
についてのせられて退職金をだま
しとられたり、しつこい勧誘に
押されて契約してしまうという
例をあげればきりがありません。
おかしいと思つたらくよくよ
考えないで、すぐ最寄りの相談
機関に相談しましょう。

- ▼ 岐阜県消費生活センター (0582-65-0999)
- ▼ 可茂県事務所 総務課 (0581-25-1311)
- 相談先 —

「つまらない話にバソ用心」

国際陶磁器フェスティバル美濃'89

豊かな暮らしをささえ、心に潤いを与え続けてきた陶磁器、いま、美濃の窯業の長い歴史と伝統を振り返り、これからの陶磁器産業と文化の発展に寄与するため、フェスティバルを開催します。

岐阜県の物産展など多彩な催しものも開催します。
前売入場券のお求めは、産業課窓口でお早めに。

- ◆ 主催 / 国際陶磁器フェスティバル美濃'89 開催委員会
- ◆ 会期 / 平成元年10月22日(日)～11月5日(日)
- ◆ メーン会場 / 多治見市総合体育館

■ 問い合わせ / 役場産業課(53-2511)

前売券発売中!

■ メーン会場入場料金

区分	前売券	当日券
大人	800円	1,000円
高校生	400円	500円
小・中学生	200円	200円

※前売券の販売は、9月30日までです。

■ 国際陶磁器フェスティバル美濃'89 開催委員会
事務局 ☎ 0572(22)1111

町民あげての人づくり

9月 かわべのくらし

あいさつ運動

- ☆行ってきます
- ☆ただいま
- ☆お帰りなさい
- ☆おつかれさま
- ☆おつかれさまの挨拶をしよう。

せいそう活動

- ☆家のまわりのそうじをしよう。
- ☆草むしり
- ☆みぞそうじ
- ☆あきかんひろい
- ☆ごみひろい

9月17日(日曜日)

家庭の日は、家族ふれあいの日
親子で、汗を流し
語り合いましょう。



あいさつ

川辺中 二年
荒 武 円 香

あいさつはだれが考えたのだろう。おはようの一言で一日の気分はとてもさわやかになる。

こんな気持ちにさせてくれる

「あいさつ」に私はありがとうと感謝したい。

朝、おばさんに会つと、

「おはよう」とさいます。」と、いう。

友だちに言つても、あいさつが返つてくる。

あいさつは、人と人の心を通わせてくれる。

私はだれにでもあいさつができるわけではない。でも、すべてのひとにあいさつをしたい、

礼儀正しくあいさつをしたい、という気持ちをもつてている。

せいそうは 自分も光る 床光る

川辺中 2年 村 山 裕 一

あいさつは 目と口、心で 元気よく

川辺中 2年 入 合 真 弓

標語

立志のつどい

9月5日～8日

■乗鞍青年の家(高山市) ■中学2年生 167名

■主催／川辺町・川辺町教育委員会



中学生の清掃奉仕作業（6月）

川辺町道徳教育推進協議会 連携推進部

生徒の活動に役立てば

川辺中 母親委員会

今年度中学校母親委員会では、前年度に引き続き、あいさつ・清掃活動に中心を置きながら、委員会独自でも外に向けての活動を計画しています。

生徒たちが、住み良い、美しい町づくりとして、地域の清掃活動を計画し、実践しています。親としては、その活動に協力しながらも「こんな活動もあるよ」と紹介していくことを思っています。

それは、八百津老人ホーム敬和園を慰問することです。単に慰めに行くのではなく、清掃奉仕という形をとつて、慰問したいと思っています。

親がどんなところに気をつけて清掃しているか、どんな道具の使い方をしているのか、カメラにとって、視覚で子供達に訴えて行きたいと思っています。子供達の目を少し外に向ける役に立てばと思つています。

親がどんなところに気をつけて清掃しているか、どんな道具の使い方をしているのか、カメラにとって、視覚で子供達に訴えて行きたいと思っています。子供達の目を少し外に向ける役に立てばと思つています。

川辺の子の良さを持続け、またどれか少しでも高めることが出来たらと、母親委員一同考え、一つでも多くの実践を残していくこ

うと思っています。

はなしの ひろば



先の雨で巣から落ちたヒナ。中央公民館前のさつきのなかにかくれながら5羽のヒナが、親鳥の運ぶえさを待っていました。一週間後、飛び立っていきました。

▶婦人部が作ったマスク



▶ドライバーに笑顔で“気をつけて”



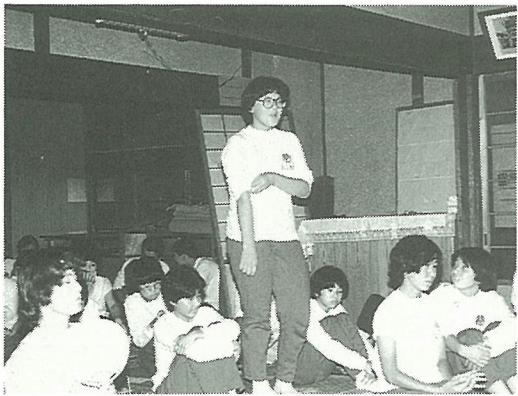
七月十一日、午後二時から下
町交通安全指導所前の国道で、川辺
(小栗美好支部長)、川辺町交通
安全婦人推進委員(馬場和子代
表)、加茂警察署、役場職員など
による交通安全指導所を開設しまし
た。

これは高山方面から南下する
車を、加茂警察署の協力により
一時停止させ、シートベルトの
着用の指導及び交通安全をお願
いしました。ドライバーには交
通安全婦人部の手作りのマスク
と、町内の全保育園児が作っ

た金魚の折紙、チラ
シなどを配りました。
思わずプレゼントに
ドライバーもにつこ
り。笑顔で交通安全
に努めますと応えて
いました。

夏休みの子どもたち

各地で歓声が聞こえる



△下川辺地区のふれあい集会。多くのテーマ
のなかでどんど焼(左義長)が話し合いの中心になりました。(下川辺公会堂で)

夏の活動の一番は、プ
ール。子どもたちの歓声
が聞こえました。(海洋
センター・プールで)



▲全国共通のラジオ体操。一日
の始まりの頃あわせの場となり
大人も参加して、すがすがしい
朝でした。(中川辺地内で)

このほど、第五代の川辺ライオンズクラブ会長に就任された
林毅さんです。



林 毅さん

ライオンズクラブ 会長に就任

福美、矢島昭二、桜井省三

このほど川辺町木曽川右岸用水土地改良区役員の改選が行われ、次のみなさんがあつまました。任期は平成元年度から四年間です。
(敬称略)
△理事：遠藤稔、高井信孝、佐伯幸信、加藤眞市、石井稔、横田良房、富松勝、安田幸夫、平岡公司、井上定美、佐伯武善、大谷行雄、桜井亨、佐伯邦博、遠藤豊、清水實、△監事：加藤

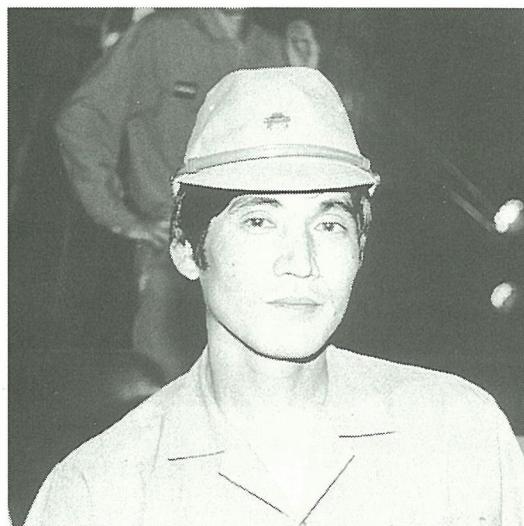
右岸用水土地改良区 役員の皆さん

人の人のこ



人シリーズ④

盆おどり



古田昌弘さん (33) 比久見

このほど、第五代の川辺ライオンズクラブ会長に就任された
林毅さんです。

そこでこの盆おどりを復活させようと動いたのが、消防団の先人の皆さんでした。「地区のふれあいの場として、これからも続けていくてほしいのです」と古田さんは、若い団員を目で追って話しました。

町内各地で盆おどり大会が開かれていました。比久見地区の盆おどり大会もその一つ、ました。「婦人会や盆おどり同



その中心で企画しているのが消防団第三分団二部。分団長の古田さんは、若い団員たちを指揮しながら盆おどりを運営していました。田さんは、「若くして盆おどりを運営していきました。」

町内では、以前青年団が中心となり、地区的盆おどりを運営していました。青年団の人数が減るにしたがい、こうした地域行事も行われなくなっていました。比久見地区もその流れで実施できなくなりました。

英会話講座始まる

中央公民館

ライオンズクラブは、地域社会に密着した団体として、地域の福祉、青少年の健全育成をはじめ、文化の向上、交通安全の推進など、多方面にわたり奉仕活動の輪を広げています。

川辺町消防団に 感謝状

川辺町消防団(長尾幸行団長)に、七月六日、加茂警察署長から感謝状が贈られました。

これは、五月十八日に町内に在住する男性(六四)が行方不明になつた際、消防団が出動要請を受け、雨の中、百四十人を動員し、捜索及び広報活動を行つた。その結果、二日後の二十日、七宗町地内にいるこの男性を無事保護したというものです。

英会話講座を開講しました。現在、受講者は二人。一年ぶりの復活となりました。

七十五歳の学習意欲満々の方の参加もあり、皆さん意欲的でした。講師は、商社で活躍し、現在家業を継いだ佐藤光宏さん(三三)と、シイタケ留学生のヘンリー・ボストさん(二三)です。

いきた英語が学べると、参加者の皆さんは積極的です。ベテラン・井戸さんも、時間があれば参加しますとのことです。中央公民館では、今でも参加希望があれば受け付けますことです。あなたも是非、参 加してください。

ポストさんの参加は、川辺町に来られたときに約束しており十一月まで講師として参加していただきます。

*—まちかど

〈カメラの目〉



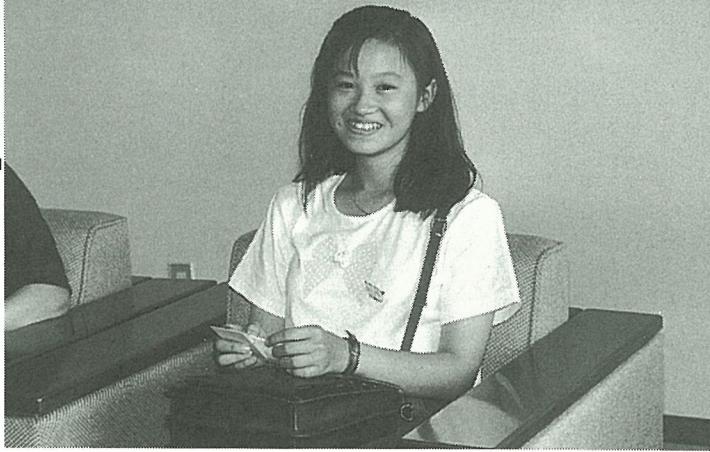
各地でお年寄りが奮闘

各地で福寿会の清掃活動が行われています。

中川辺第一福寿会（松野保義会長）は中川辺大北にある毘沙門天の清掃活動を行っています。会員は四十五人、この

活動を続けて五年目になります。「毘沙門天には今でも多くの人が来ます。来られた人に喜ばれます」と会員の皆はなしでした。さらに会員の皆さんは「昔は裏の山に登る人も多かったのですが、今は道もわからなくなってしまった」と残念そうでした。裏山には、川辺町で一番古いといわれる矢坂山城があつたと伝えられています。

七月二十五日から十日間、台湾からのミニ留学生チャン・ウイー・スイさん（二セ）が、前島鉢志さん（中川辺）宅で滞在していました。



台湾からミニ留学

川辺ライオンズクラブ

七月二十五日から十日間、台湾からのミニ留学生チャン・ウイー・スイさん（二セ）が、前島鉢志さん（中川辺）宅で滞在していました。チャンさんは観光学を学んでいる女子高校生で、日本では観光と民俗の研究がテーマでした。ホスト役は川辺ライオンズクラブの交流事業担当の委員さんたち。名古屋デザイン博をはじめ各地を見学、意義ある研修ができました。



山野草を楽しもう

第一回ウチヨウラン展

六月二十五日、飛水山草会（桜井勝代表（五三））

の第一回ウチヨウラン展が、商工會館二階で開かれました。

この飛水山草会は、今年六月六日に七人の参加で発足しました。会員には安く分けていました。

ウチヨウラン約三百点を展示、

ウチヨウラン約三百点を展示、

希望者には安く分けました。同会ではウチヨウランのほかに、

イワヒバ、イワチドリ、エビネなど各種山野草を育てています。

今後、増殖した野草を自然に返し、自然を保護し、子どもたちに自然散策などの場を作ること、

また、「川辺の山野草」の写真集を作りたいなど、将来の希望を話していました。

六月十六日、中央公民館で婦人会リーダー研修会が町内のリーダー約六十人の参加で行われました。

この研修会は、討論のあと「女性が女性らしく生きること、チャレンジの気持ちは大切、リーダーはボケない」など、具体的な事例を出ししながら助言し、参加したリーダーに発想の転換を呼びかけていました。

リーダーはボケない 婦人会研修会

今年で三年目。この三年間、助言者となつて川辺町の婦人会活動のより良き歩みをアドバイスしてきたのが社会教育アドバイザーの鈴木満智子先生。グループ



元気です



山口まさしきん (1歳2ヶ月)=上川辺
(芳則さん・智恵美さん 長男)

【作り方】 ①じやがいもは皮をむき七分厚さのいちょう切りにして水にさらし、水気を拭いておく。②玉ねぎとねぎ

二個、玉ねぎ二分の一個、ねぎ二分の一本、ステップカップ二、牛乳カップ一、バター大さじ二、塩・こしょう少々、生クリーム大さじ三

今月の料理



岩井栄養士

ヴィンソワーズ (冷製ポテトスープ)

はみじん切りにする。③鍋にバターを溶かして②の玉ねぎとねぎをしんなりとするまで炒め、①のじやがいもを加えてよく炒め合わせる。④じや

「一年中、シイタケを育てるため、横田さんは、どんな工夫をしているだろうか」今、三年生社会科学習の課題です。過日、三時間かけて長駆、鹿塙まで学習を行ってきました。「ビニールハウスが二重になっていたり、地下をお湯が通っていたり、クーラーで冷やしたりして大変だと思いました」横田式穿孔機を発明したり、鉄板で衝撃を与えることを考えた横田さんはすごいと思いました。」——目を輝かし

親から、地域から、体で学ぶ知恵の大切さが、学校の教科として動き始

て教室でつぎつぎと発表する子どもの姿を見る時、実地での学習の重要さをしみじみ感じるものでした。

地域から体で学ぶ 社 会 科

先般、羽島のある小学校を参観しました。指定観者、NHKまで取材しているには驚きました。

人気の目玉は『町一番の田植名人に習う田んぼの学習』『古老の鮮かなバランスばきの高桑太鼓の練習』など、新しい生活科の実践にあつたようでした。

て教室でつぎつぎと発表する子どもの姿を見る時、実地での学習の重要さをしみじみ感じるものでした。

(註) 平成四年より小学校一、二年の社会・理科は廃止され、生活科が実施されます。
(井戸)



優勝は下麻生ソフトクラブ

第八回町長杯男子ソフト

このほど、町ソフトボール協

会(野中武人理事長)主催の第

八回川辺町長杯男子ソ

フトボール大会が、川辺中、川辺北小グラウンドで十四チームの参

加で行われました。

決勝戦は下麻生ソフトクラブと下川辺スポーツクラブで熱戦が繰り広げられ、優勝は下麻生ソフトクラブで二年連続優勝となりました。結果は次のとおりです。

△優勝=下麻生ソフトクラブ
△準優勝=下川辺



▲優勝の下麻生ソフトクラブ

がいもにバターがなじんできたら、ステップを加えて強火で煮る。ひと煮立ちしたところで火を弱め、アグを取つて蓋

をし、じやがいもがやわらかくなるまで煮込む。(5)(4)のあら熱をとつてミキサーにかけなめらかなピューレ状にして鍋にもとじ、牛乳で溶きのばす。再びひと煮立ちさせ、塩、こしょうで味を調え、火を止め。(6)(5)がさめたら冷蔵庫でよく冷やし食卓に出す直前に生クリームを加えて混ぜ合わせる。器に注ぎ入れ、あさつきの小口切りなどを浮き実にして出すとよい。

川辺の歴史

12

■わたしたちの作品

月	光	奏でる笛の音が冴える	加藤英香
信	仰	俗塵捨てて札所踏む	平岡和風
大間違い		若気の至りと頭搔く	加藤八方
美しい娘	坂	店に座れば客が集る	加藤比呂志
嬉しい娘		栄光へ歯を喰い縛る	村山一笑
日盛り		婿八人に親迷う	加藤瓢岳
月光		青葉背負つて田草這う	桜井遊泉
熱つつ		ギター爪弾き里偲ぶ	野中鈴の音
月	光	初風呂足を引っこ抜く	大脇彩花
落葉		波に碎けて浜に寄る	加藤爽月
女性上位		箕の咽喉を詰らせる	井戸鹿笛
落葉		志摩じや磯笛巾利かす	加藤杏呂
ボプラ並木が冬告げる		佐伯美里	

幼等の「母さん」と呼ぶ韻律が杳に記憶をやさしくゆする
伸びざかりの孫少年の匂いもちレタス音たててさわやかに食は
雨にぬるる南天の花の清しきをひとりで觀れば尊しと見る
古株の桑掘りおこされて先祖等の生活の証しまた消されゆく
パン屑の小さきかけらを抱えこみ蜂ためらわづ飛びてゆきた
後輩等と飲みつつ聞けりJRに厳しさあふる日日の勤務
仮りに住む狭き部屋隅も明るさと香りもちくるまつ赤なバラ
街並を過ぎれば車窓を吹き抜ける風はいつしか潮の香ふくむ
作業場に出荷終るも規格表の端正な毎描かれたるまま
清ぎやかに老い給えまし残る世を師とも母とも慕い來し人
登園の孫居ぬ部屋に思いきり紙鉄砲を強く鳴らせり
漁火と港の灯りを残しつつ波音おちぬ闇深まれば
やみ臥すも農に生き來し老い父は種子蒔く季を折りおりに言ひ

遠垣山長岩肥松紅赤遠栗横
藤下田瀬井田岡谷坂藤山山
三富正米寿
博君宗千節久美
豊子子子代子美茂子枝子子

飛鳥（あすか）時代の大化
二年（六四六）の政治改革を、
大化の革新と呼んでいます。
この改革は、地方政治の中央
への集権化、私有地の廃止に
よる公地公民制、戸籍の作成
と税制の確立などを柱とした
ものでした。

れたのです。しかし、給付され
た男女が死亡すると、ただちに
没収されます。そのため、六年
に一回、徹底した戸籍調査が行
われたのでした。そのうちの一
通が、『No.10』で紹介した半布里
(富加町羽生) 戸籍です。

この戸籍で、そのころの家族
の人員をみると、一戸のうち
最も人数の少ない家は八人、最
も多い家では四十四人にもなつ
ています。一戸平均二十・五人
です。

家族構成は、戸主・妻・子供・
孫のほかに、おい・めい・いと

これらの戸籍は、金持ちや貧しい家など、貧富の差によって九つのクラス（階級）にわけられていきました。半布里戸籍の五十四戸のうち、四十二戸までが最も貧しいクラスに属しています。ハイクラスでも、平均から下の階級でしたので、貧しい家ばかりだつたことが想像されます。

石、従つて、美濃国の人口は十四万八千人となります。一方、加茂郡内の人口は例の半布里戸籍からすると、戸当り二十人平均、一郷(村)単位約五十戸とすれば、加茂郡十二郷で一万二千人となります。川辺は四つの郷に大別されておりましたので、人口は四千人となりますが、あくまで推定人口です。

朝夕に感じるのは、飛騨川ぞいに、ジョギングや散歩をする人たちが目につくことです。

寄りのゲートボールの練習やソフトボールの早朝練習、そしてマリンスポーツカーニバルに向けてのボートの練習などが、同時に行われています。ただ、ラジオ体操の時間だけ、子どもたちと一緒に声をかけあい体操できないものかと感じました。

れたのです。しかし、給付された男女が死亡すると、ただちに没収されます。そのため、六年

こ、なども同居していました。また、大家族の家では、一人立ちできない親せきの人や、奴婢（ぬひ）と呼ばれた奴隸（どれい）もいました。奴は男、婢は女の奴隸のことです。

当時、この地方にどれ程の人々が定住していたのでしょうか。美濃国の水田の収穫量は、古記録によると十四万八千石。単純な計算方法をとれば、年間一人当たりの飯米は一

▽夏になつて、子どもも大人も活発に動く気配を感じます。